



角田 秀明 議員

公共施設の料金値上げは!!

町民の理解が得られれば

公共施設の料金値上げは町民に理解を得られるか

角田 公共料金、公共施設の値上げについては、町民の大多数の方々は納得をしていないと思うが、町長の見解は。

町長 県に依頼して実施した財政診断によると、本町の財政を圧迫している原因の一つに特別会計への繰出金があります。類似団体に比較して繰出金が多く、繰出金を削減するためには、特別会計の独立採算制の原則を念頭に置き、各使用料の改正が必要との指摘がありました。平成17年4月現在の本町の使用料、県内の公共下水道で48団体の29位、農集排水で61団体の36位と平均以下の状況です。このようなことから町民の皆様方に説明会をしてまいりました。



賑わいを見せる温泉プール

再質問 公共料金をすべて上げないで頑張る。そして特別会計の事業を行ったものに対して、加入促進をしながら、一時費用を上げずに運営する方法を努力すべきで、値上げは見直すべきと思うが町長の考えは。

町長 健康センター、公共下水道、農集排についても、加入者の負担増、利用者の負担増、あらゆる方向から検討させていただくことにお約束をさせていただきま

再任用・職員管理職の早期退職について

角田 職員の早期退職、管理職の定年を、早くやめる場合に公共施設の管理運営に携わっていただくというふうなことで早期退職をお願いするならばわかるが、財政難なので退職してくれでは、職員も退めないと思うが町長の考えは!

町長 50歳以上59歳以下の職員が退職する際の特例制度を設け、58歳に達する者については、早期退職の勧奨を実施しているところでありますが、年金開始年

齢が年々引き上げられることなどから、実施のところ、早期退職になかなか踏み切れないのが実情ではないかと考えております。管理職等の早期退職を推進するためには、長年公務で培った能力及び経験を公務外で活用できる道を開いていくことも必要と考えております。町の外部団体や関連団体への兼務の支援や人材の活用観点から、勧奨による早期退職職員の任用や雇用についても、具体的に検討してまいりたい。

少子化対策について

角田 今、町では第3子対策を行っておりますが、出産祝金の考えはあるか。他町村では、もう既に行っているところもあるようですが、財政再建で大変厳しい時期でありますけれど、考えがないとするならば、ぜひ考えてほしいと思います。

町長 少子化対策として、子供を生み育てやすい環境を整えるため、今年度より第3子以降の幼稚園、保育園の保育料無料事業がござ



乳児検診で賑わう福祉センター

います。乳幼児医療費支給として、小学校1年終了まで実施しその他、国の制度の児童手当として、小学校終了まで毎月5000円から1万円の支給制度があります。医療保険では、出産一時金として35万円の支給があります。財政再建計画の中で、それ以外に出産祝金を新設することは大変困難な状況であります。

再質問 若者が安住する町を推進している我が町でありますけれども、出産祝金について、考えていないということではありますが、中島村さんは記念樹を記念に差し上げている。記念になる物を少しでも、考えを伺いたい。

町長 中島村の例では、お金が多い少ないというよりも、やるのが大切なのではという意見ですが、ご提案、ご意見も含め検討してまいりたい。



諸根 重男 議員

財政の基本は 「入るを量りて出を制す」

諸根 収入に見合った行政運営こそ、今の矢吹町の現状である。財政再建3カ年計画が作成され、改定集中改革プランができあがったわけであるが、この計画に達しなかった場合、財政破綻ということにもなりかねない中で町長はこの3カ年改革を実行するにあたり、どのような手法で乗り切るか、乗り切れる自信はあるのか、又、財源の確保であるが滞納による収納率の向上、今後はさらに滞納対策を図ると言っているが、5億数千円の滞納をどのような方法で強化を図るのか、町長の考えを伺う。

町長 「入るを量りて出を制す」との言葉どおり、財政再建計画では「入るを量り」の部分については、自主財源の確保、公平な受益者負担による使用料の見直しなどを考えております。「出るを制す」の部分は、主要事業、事務事業の計画の見直し、内部管理経費の削減等に努めます。収納率の向上、自主財源の強化を

図ることにつきましては、税務課内に収納対策を設置するとともに、人的強化を行いました。納税者の公正、公平性を保つため、未納者には、調査に基づき差し押さえ公売等によって収納率の向上に努めてまいります。

職員の財政再建に伴う意識改革について

諸根 最近、職員の意識改革が大事という言葉が盛んに使われているが、職員レベルの意識改革が進めば、当然行政全体としての運営のあり方も変わってくると思う。行政の実施する事業は、そもそも町民のためであり町民の税金を使い、どれだけ効果があつたかわかりやすく説明することは、本来、行政の責任である。こういう時こそ、「目の前の川を飛び勇氣を持った職員」が必要とされるとき、財政3カ年計画の中に町民の意向を敏感に把握し、迅速、的確に対応し緊張感を持って職務に当たるとしているが町長の更なる指導方針をお聞かせいただきたい。



役場1階総合窓口

町長 財政再建計画を達成するためには、職員一人一人が組織目標に向って取り組みることが大変重要であり、その目標が財政再建3カ年計画であります。達成する手段として、課の運営方針を目標に財政再建項目を位置づけ、課の目標として取り組むこととしました。この取り組みは、ホームページで公表するとともに、年度中間には、進捗管理、年度末にはその実績を最終報告としてまとめ、検証し、公表します。目標管理型の行政運営を職員一丸となつ

て取り組むことにより、達成感とやる気を起こさせるなど、改革を図ります。

矢中 改築について

諸根 今回の矢中改築検討委員会の中ではもう少し財政を考慮しながら着工すべきとの声が多かった中で、今、この危機的財政に陥っている苦しい財政の中でもう少し待ってもう少しは、町民、学校側としても納得してもらおうことであり、再度町長の考えを伺う。

町長 財政を無視して着工をする考えはありません。しかし安全、安心な教育環境の整備は重要な課題であることから、再建計画では、中学校建設の基金3億円の積み立てを計画しているところですが、ほかに財源に充てるため、目的基金の投入、県の振興基金の借入れ、改築経費及び財源の再検討を行い、財政再建を着実に進めながら、早期に着工してまいりたいと考えております。